

# 令和5年度学校自己評価システムシート (県立大宮光陵高等学校)

目指す学校像	校訓「自立、協調、創造」の理念のもと、確かな学力と専門的な能力を身に着け、情操豊かで、自主的・創造的な精神を持つ人間を育てる。
--------	---

重点目標	1 確かな学力の向上と自立する力の育成に向け、学習意欲を高める授業を展開し、生徒一人一人の進路希望実現を支援する。 2 グローバルな視野を養う機会を推進し、豊かな人間性と創造性を育み、様々な角度から物事を考え自ら率先して行動できる人材を育成する。 3 多様で特色ある本校の情報を積極的に発信し、開かれた学校づくりを推進する。
------	--

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。  
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者	5名
生徒	2名
事務局(教職員)	10名

学校自己評価					年度評価(2月1日現在)		
年度目標					達成度	次年度への課題と改善策	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標			評価項目の達成状況
1	<p>(現状) 授業アンケートではある程度の満足度は示されていた。満足度だけでなく、明確な目標をもって学習させ更に学校全体の学力を向上させる必要がある。また、進路情報提供や相談体制に対する満足度は漸増傾向であった。生徒がより主体的に進路について考え、将来を見据えた選択ができるようにすることが望まれる。</p> <p>(課題) 目標及び評価の規準を明示して、生徒が目標に向け意欲的に学習できるようにし、個々の学力を向上させる。また、生徒が将来を見据え、上位校への挑戦を意識した進路選択をし、希望を実現できるような進路指導体制や環境を整えると共に、ICTの効果的な活用を推進していく。</p>	各教科・科目の目標に即した授業の方法、評価規準を引き続き、明確にし、学校全体で共有する。	①目標に即した評価基準を示して評価し、生徒の学習意欲を伸ばさせ、学力向上につなげる。 ②進路行事を一層充実させ、必要な進路情報を生徒、保護者に適切に提供する。	①授業アンケートでの授業満足度が向上したか。 ①成績優良者が増え、欠点保有者が減ったか。 ②学校評価アンケートにおいて、進路情報の提供や相談等での満足度が向上したか。 ②大学入学共通テストの受験者数や一般受験の受験者数が増加したか。 ③生徒の進路希望に則した進学補講や学習支援を実施できたか。 ③生徒個々が今年度導入した外部機関の学習支援を活用したか。 ③生徒の進路希望が実現できたか。	○相互授業観察、進路行事の見直し、自学自習を促進するための外部機関との連携を行い授業改善や学習環境の整備を図った。 ①生徒アンケートでの「授業の目標が伝わったか」(57.9%)、「自分で考え表現することを感じたか」(47.9%)、保護者アンケートで「授業の満足度」(48.1%)と、すべて前年比5%以上向上した。昨年2学期末の2,3年生において、成績優良者数は104人であったのに対し、今年度の成績優良者数は116人と増加した。 ②学校評価アンケートでは、進路情報の提供や相談等が適切と答えた生徒は61.5%(昨年度+2.6)と増加。夏季休業中の進学補講は17講座を実施。新規に駿台サテネットを導入し、生徒のオンライン学習を可能にした。1学年で大学見学会を実施した。 ③合格者のべ数(進学234人、就職1人1/13現在)	A	・生徒アンケート、保護者アンケートの双方とも授業の充実についての期待が大きい。主体的で対話的な学びや、ICT活用の充実に向けて、引き続き、調査、研究を重ね、取り組む。 ・進路情報の提供、体験的な学びによる職業観の育成等、一層の進路指導の充実を進めていく。
2	<p>(現状) 高いレベルの芸術活動や国際交流、外国語コースの取組などを特色とし、落ち着いた雰囲気の中で教育活動が行われている。</p> <p>(課題) 4学科1コースの特色を生かし、相互の情報共有や交流を深めると共に、3年以上実施できていなかった海外短期研修等を再開させ、グローバルな視点の育成に努める。また、学校としての一体感を持てるよう、そしてさらに生徒が充実感を得られるような行事の実施や環境を整える。</p>	大宮光陵高校としての一体感を醸成し、様々な教育活動をととして学校生活に充実感を持たせ、個々の生徒の学びの意欲を高める。	①各部活動の活動状況や成果、学科・コースの校内外の発表・展覧会等の情報を共有し、組織的に生徒の意欲を高める。 ②生徒が主体的に諸行事を運営する体制を整える。 ③学科・コースの特色を生かした国際交流事業を再開する。	①部活動の活動状況や成果、学科・コースの校内外の発表・展覧会等の情報提供が適切に行われ、各種大会やコンクールで優秀な成績を修めることができたか。 ②生徒主体で文化祭を企画運営した。学校評価アンケートでは、「学校行事への満足度」が生徒76.6%、保護者72.2%と前年度より肯定的評価が多かった。 ③事前・事後の学習を含め台湾訪問、オーストラリア派遣を計画通り実施できた。また、留学生1名、姉妹校からの派遣生3名を受け入れた。ヨーロッパ派遣は円安等の影響で費用が高騰し実施できなかった。	○全学校行事等を予定通り実施できた。 ①吹奏楽部が東日本大会で金賞を受賞し、弓道部が関東大会に出場、美術、書道、管弦楽の各部が全国総文祭に出品・出場するなど、好成績をおさめた。 ②生徒主体で文化祭を企画運営した。学校評価アンケートでは、「学校行事への満足度」が生徒76.6%、保護者72.2%と前年度より肯定的評価が多かった。 ③事前・事後の学習を含め台湾訪問、オーストラリア派遣を計画通り実施できた。また、留学生1名、姉妹校からの派遣生3名を受け入れた。ヨーロッパ派遣は円安等の影響で費用が高騰し実施できなかった。	A	・学校行事や発表会、部活動における大会やコンクールなどが実施され、生徒の満足度も高かった。次年度以降も、学校としての一体感が生まれ、さらに、生徒一人一人が充実感を持てるような取組を実施していく。 ・ヨーロッパ派遣については、現状では実施が難しく、内容等の検討が必要。
3	<p>(現状) 学校からの情報提供については一定の評価・信頼は得られているが、コロナ対策もあり、地域との交流については実施できていない行事もある。</p> <p>(課題) 本校の教育活動の実践とその成果を積極的に発信し、家庭・地域と情報共有しながら更なる信頼を得ると共に、停滞している地域交流の再開を積極的に行う必要がある。</p>	HPやメール、ICTを活用して確実な情報を提供するとともに、説明会や交流事業などで本校の特色ある教育活動の情報を発信する。	①本校生徒とその保護者に、行事等の情報を適時に的確に発信する。 ②芸術三科を中心に数多くある地域イベントやメディアからの依頼に対し、その内容や効果を吟味し、積極的に協力し本校生徒の魅力を発信する。 ③本校の特色を情報発信すると共に主体的に地域との交流事業を再開する。 ④全県の中学生や保護者、中学校等の関係者に本校の情報を適時に提供する。	①情報提供に対する保護者の満足度が向上したか。また、HPへのアクセス数は増加したか。 ②地域や各種メディアからの依頼に随時対応し本校の教育活動や生徒の魅力を広められたか。 ③地域との交流事業を実施し、関係者の満足度を高められたか。 ④説明会等の参加者数、本校志願者数は増加したか。	○コロナ禍以前に近い形で、学校説明会、地域交流などを実施した。 ①保護者アンケートでは、「学校と保護者の連携」について、肯定的な回答が30.4%と昨年度から微増した。かねてから要望があった学校食堂の営業を再開できた。 ②部活動、芸術学科が公共団体等から依頼された催し物等に参加、発表し好評だった。 ③植水小学校との交流会を再開した。また、部活動、芸術学科、有志等、多数生徒が地域ボランティア等に参加できた。 ④予定どおり説明会、体験授業等を実施し、参加者も増加。中学校PTAの高校訪問、個別の中学校での説明会等の実施数は増加。1月現在の中3の本校への進学希望者数は、ほぼ全学科・コースで増加している。	A	・学校ホームページを充実させていく。 ・PTA活動も再開でき、研修会等を実施し、多くの保護者に参加できた。次年度以降より活性化させたい。 ・地域との交流や地域行事への参加を通し、本校の特色や魅力をより多くの人たちに伝えていく。

学校関係者評価
実施日 令和6年2月6日
学校関係者からの意見・要望・評価等
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育のDX化が進む現代、これにいかにかに上手に乗るか。いかにOCT技術を教育に利用していくか。日本のためにがんばってほしい。若い力と知恵で。期待している。</li> <li>・ICT化が進み、学習を外部に頼らざるをえない部分が出ている中、うまくいっているか、の検証・追跡・分析をされていると感じた。</li> <li>・進路に関連したアンケートの設問に厳しめの評価が来ている。生徒、保護者とも興味、関心が高い部分である。</li> <li>・進路は小中高進むにつれて、具体的に、「夢」を「目標」に変えていく。高校3年生にはしっかりと目標を持ってほしい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導について。自発的・自主的・自律的生徒の育成が大切。</li> <li>・学校行事を通して、みんなで何かをしたり、きまりを守ったりするなど、光陵高校のコミュニティを作ってほしい。「行事」は成長のもとになる。リモートの便利さにも我々は気づいてしまったが、アナログに戻していくことも大切。より良い学校になると思う。</li> <li>・生徒が自分で「なしとげていこう」という気持ちが大切。社会に出たときにも役に立つはず。それにはコミュニケーションが大切である。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・芸術三科のイベントについて、外部には学校ホームページ、保護者や生徒には一斉メール等を活用して積極的に発信してほしい。</li> <li>・先日、令和元年以来のさいたま市立植水小学校との交流事業が実施できた。大変価値のある行事となった。昔とは違う形だったが、今回のものをベースに改善しつつ行っていきたい。近隣中学校との交流もあるといい。</li> </ul>